



2019年3月期

第3四半期決算説明会資料



決算発表のポイント

決算概要

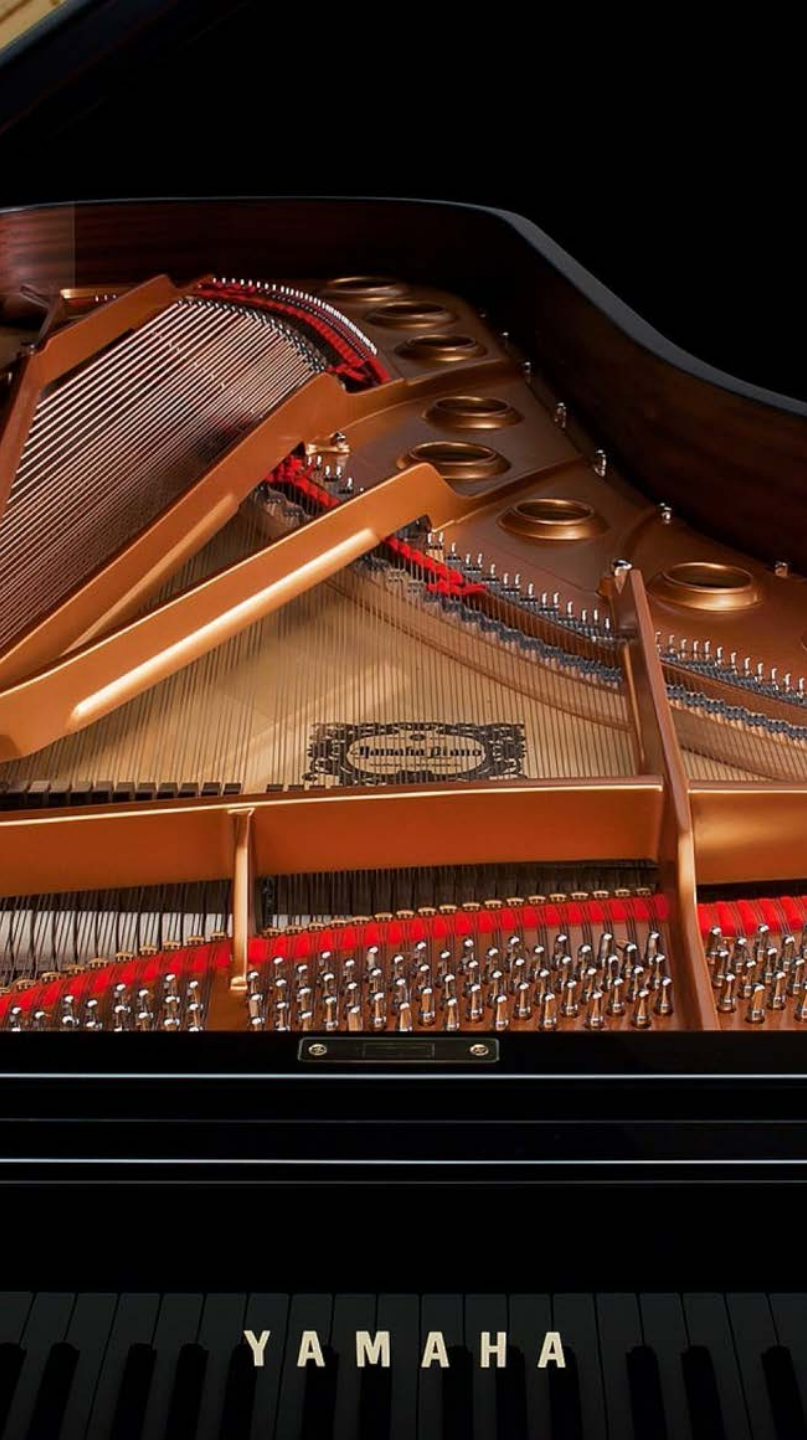
<19/3月期 3Q累計実績>

() 数値は前年同期との対比

- ・ 対前年同期、増収増益。通期計画に沿って順調に進捗
- ・ 売上高は、楽器事業が牽引し堅調に推移(+1.6%)
- ・ 営業利益481億円(+16.0%)、営業利益率14.4%(+1.8P)を達成

<19/3月期 通期予想>

- ・ 売上高は、部品・装置事業の減収により前回予想比20億円の下方修正
- ・ 営業利益550億円(+12.6%)は据え置く
- ・ 営業利益と経常利益は過去最高益更新を予想



1. 決算概要

業績概要

(億円)

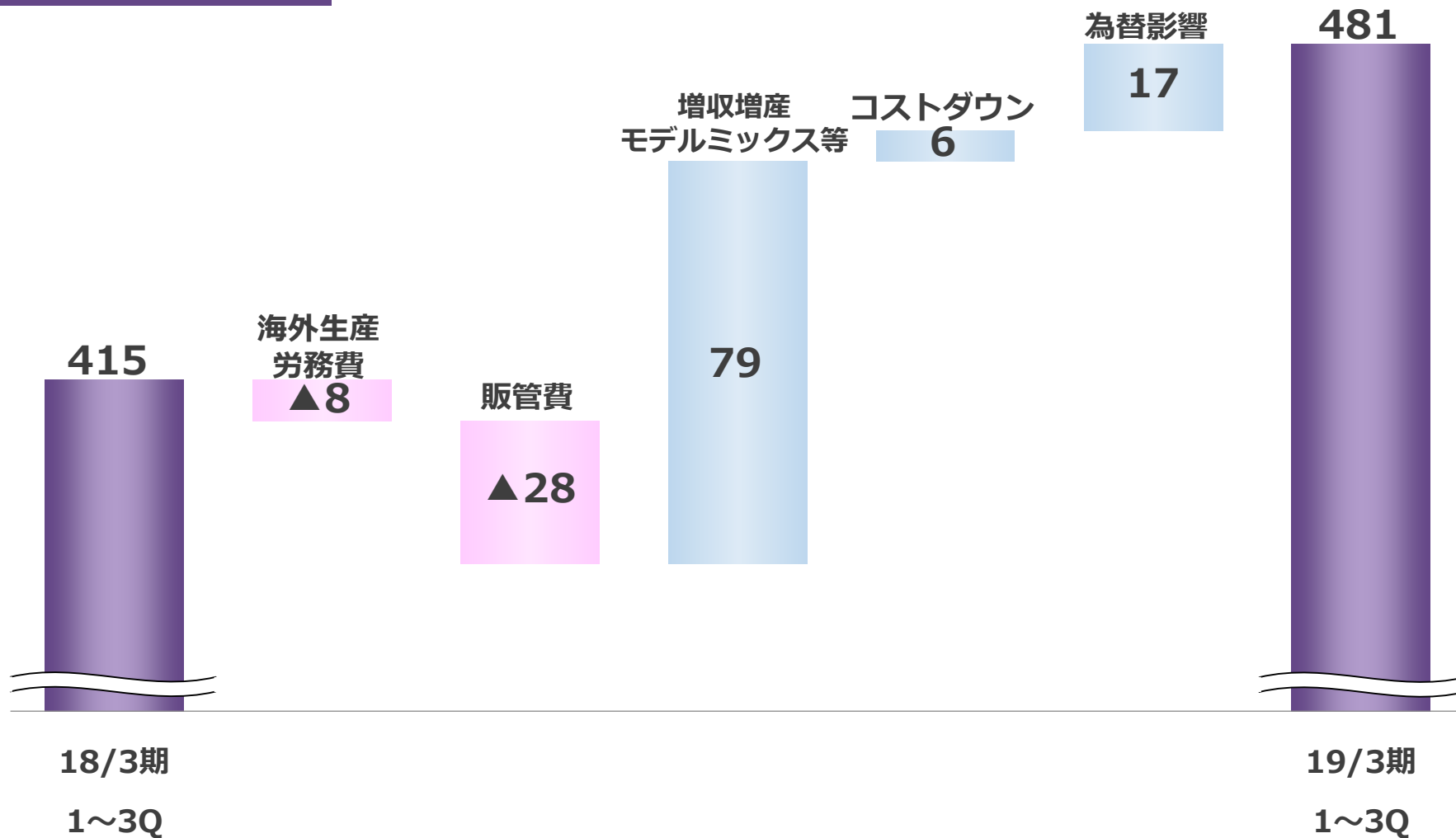
	18/3	19/3	前期比	
売上高	3,287	3,339	+52	+1.6% ^{*2}
営業利益 (営業利益率)	415 (12.6%)	481 (14.4%)	+66	+16.0%
経常利益	416	489	+73	+17.4%
当期利益 ^{*1}	496	367	▲128	▲25.9%
為替レート (円)			*2+2.2% (為替影響除く)	
売上高 (期中平均)	US\$	112	111	
	EUR	129	129	
利益 (決済レート)	US\$	112	111	
	EUR	124	132	

*1 連結財務諸表上は「親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益」
 前年同期はヤマハ発動機株式会社株式の一部売却による投資有価証券売却益（特別利益）258億円を計上

営業利益増減要因

前期との比較

(億円)



事業別業績

(億円)

		18/3	19/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上高	2,088	2,150	+62	▲15
	営業利益	281	358	+76	+12
	営業利益率	13.5%	16.6%	+3.2P	
音響機器事業	売上高	923	910	▲13	▲7
	営業利益	101	92	▲8	+5
	営業利益率	10.9%	10.2%	▲0.7P	
部品・装置 その他事業	売上高	277	279	+2	0
	営業利益	33	31	▲2	0
	営業利益率	11.8%	11.0%	▲0.8P	

* 新規事業開発費用の負担の見直しによる営業利益影響額・・・楽器事業 +6億円、音響機器事業 ▲6億円

通期業績予想

(億円)

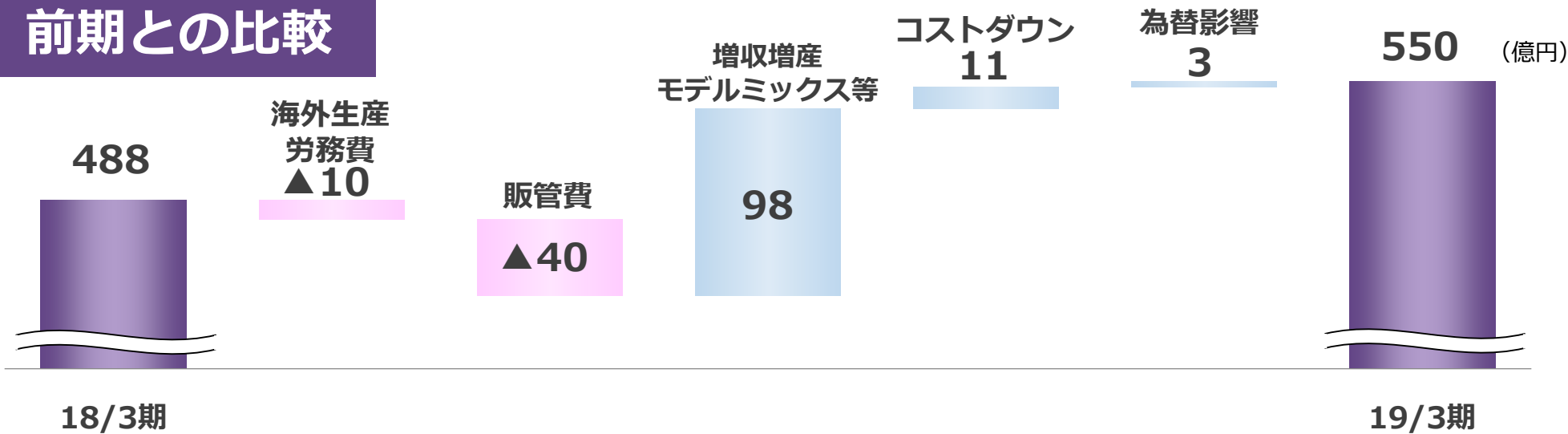
	18/3	19/3予想	前期比	
売上高	4,330	4,400	+70	+1.6% ^{*2}
営業利益 (営業利益率)	488 (11.3%)	550 (12.5%)	+62	+12.6%
経常利益	492	550	+58	+11.7%
当期利益 ^{*1}	544	400	▲144	▲26.4%
為替レート (円)				*2 +2.5% (為替影響除く)
売上高 (期中平均)	US\$	111	111	
	EUR	130	128	
利益 (決済レート)	US\$	111	111	
	EUR	126	131	

※4Qの為替前提は、US\$110円、ユーロ125円

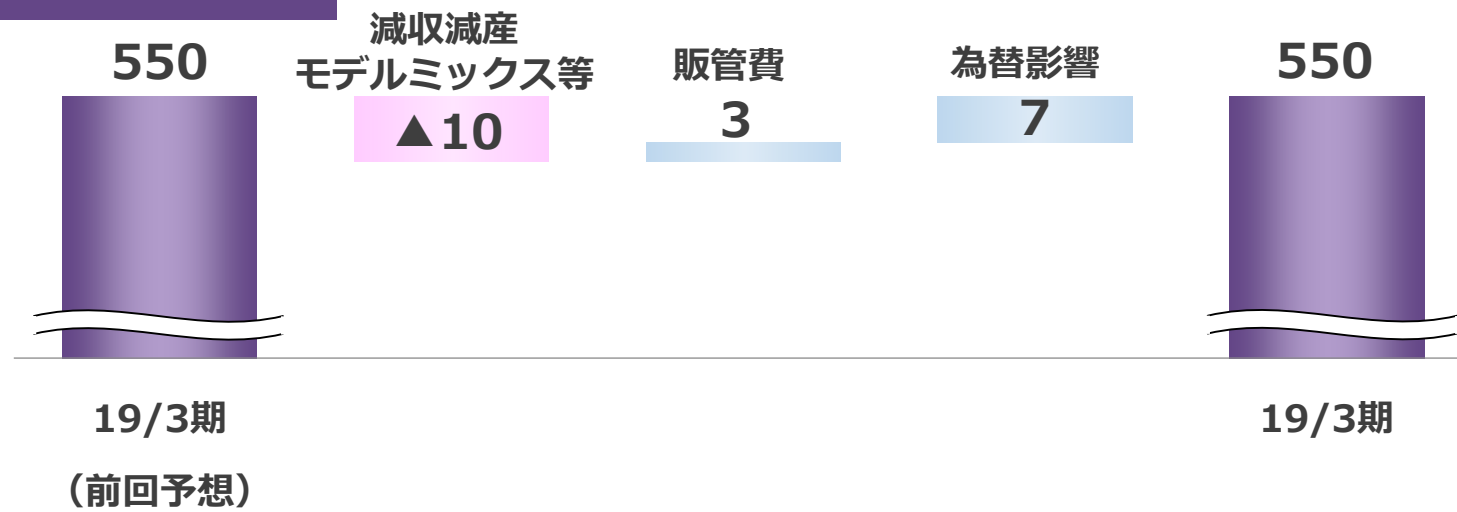
*1 連結財務諸表上は「親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益」
前年はヤマハ発動機株式会社株式の一部売却による投資有価証券売却益（特別利益）258億円を計上

営業利益増減要因

前期との比較



前回予想との比較

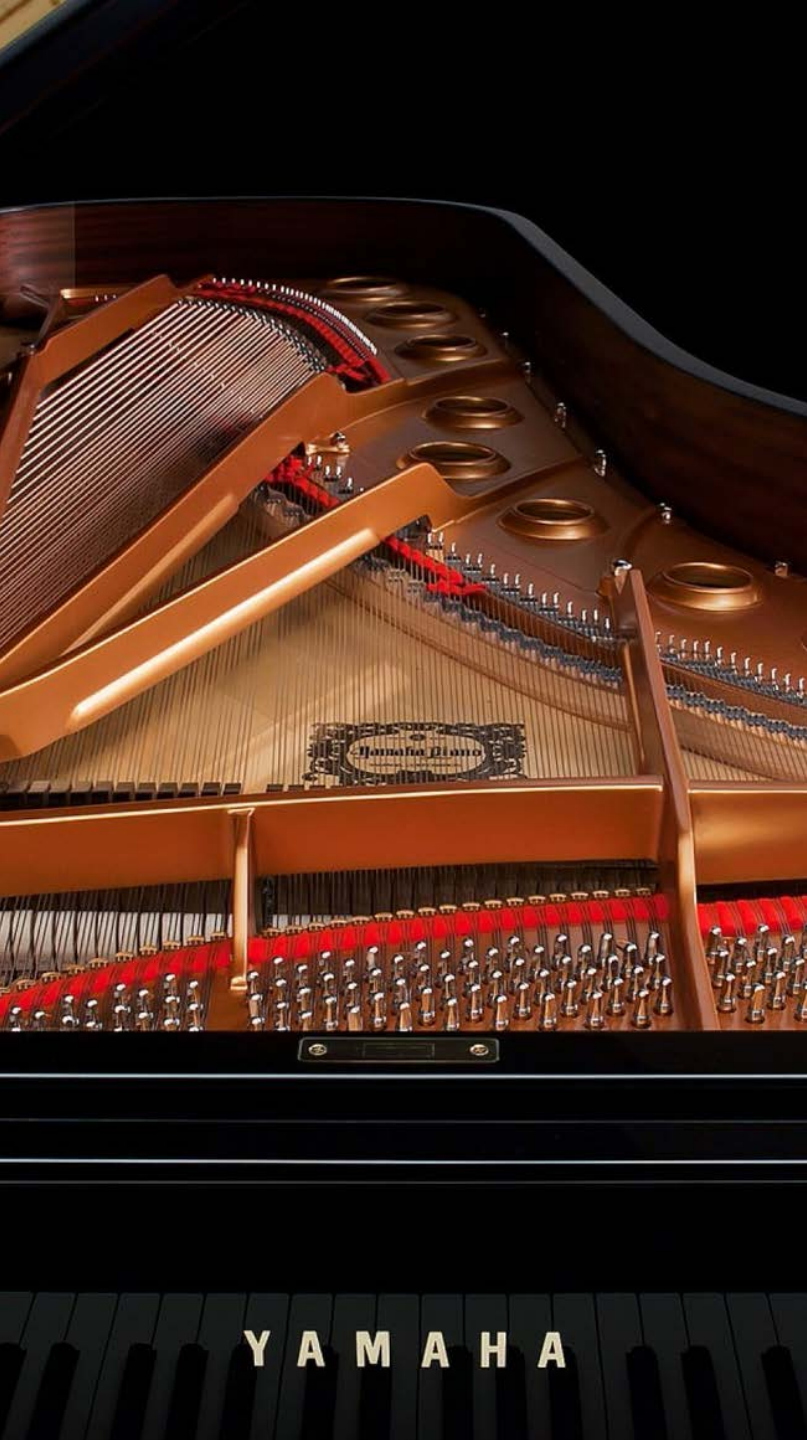


事業別通期業績予想

(億円)

		18/3	19/3予想	前期比	為替影響
楽器事業	売上高	2,745	2,825	+80	▲26
	営業利益	346	415	+69	+3
	営業利益率	12.6%	14.7%	+2.1P	
音響機器事業	売上高	1,218	1,235	+17	▲12
	営業利益	107	110	+3	+1
	営業利益率	8.8%	8.9%	+0.1P	
部品・装置 その他事業	売上高	367	340	▲27	0
	営業利益	35	25	▲10	0
	営業利益率	9.5%	7.4%	▲2.1P	

* 新規事業開発費用の負担の見直しによる営業利益影響額・・・楽器事業 +9億円、音響機器事業 ▲9億円

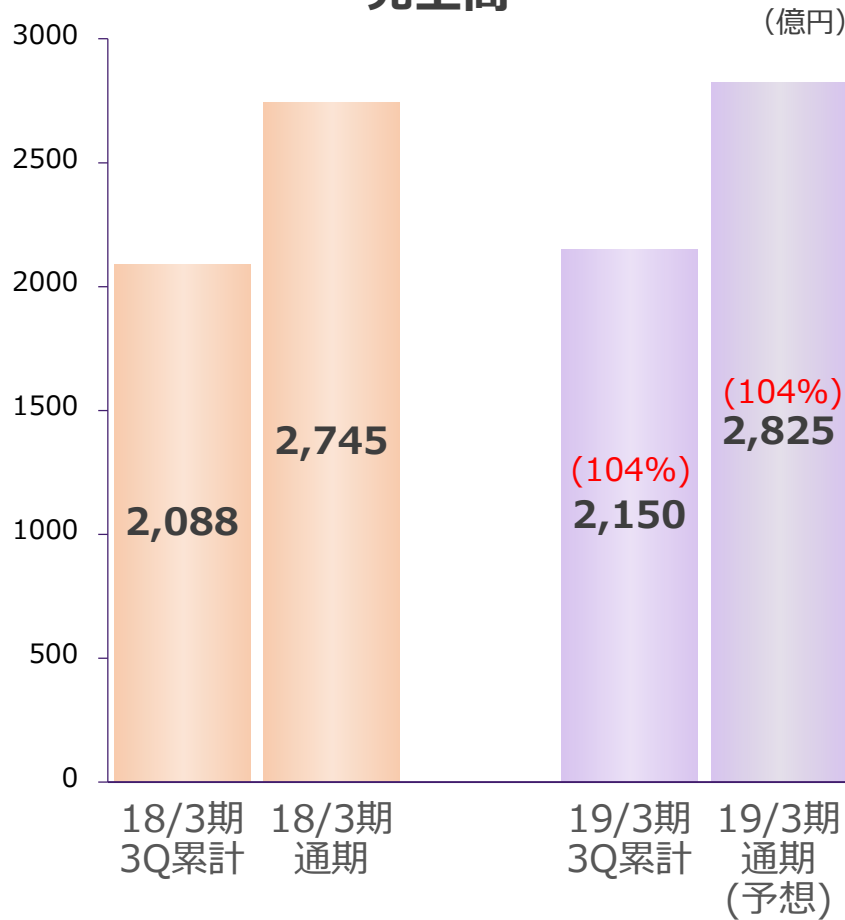


Y A M A H A

2. 事業別概要

売上・営業利益

売上高



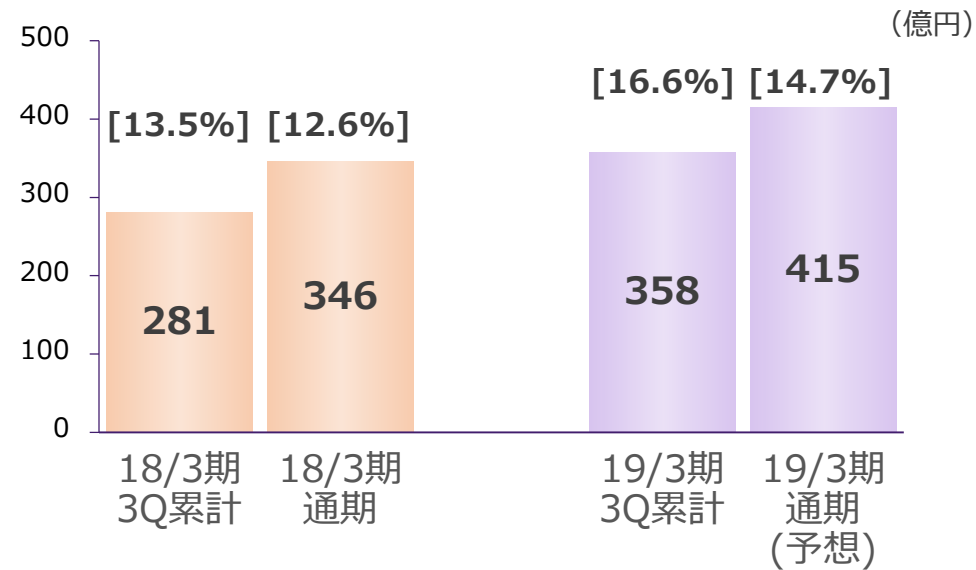
[3Q累計状況] 全商品カテゴリーで増収

- ・商品別：ピアノは中国2桁成長、北米好調により好調継続
DPは普及帯が伸長し好調。ギターは中国・北米で2桁成長
- ・市場別：中国、北米にて2桁成長

[通期見込] 全商品カテゴリー増収、前年上回る伸びを予想

- ・市場別：中国は2桁成長。北米は好調。新興国は地域で跛行性あるも堅調。国内、欧州は減収。

営業利益

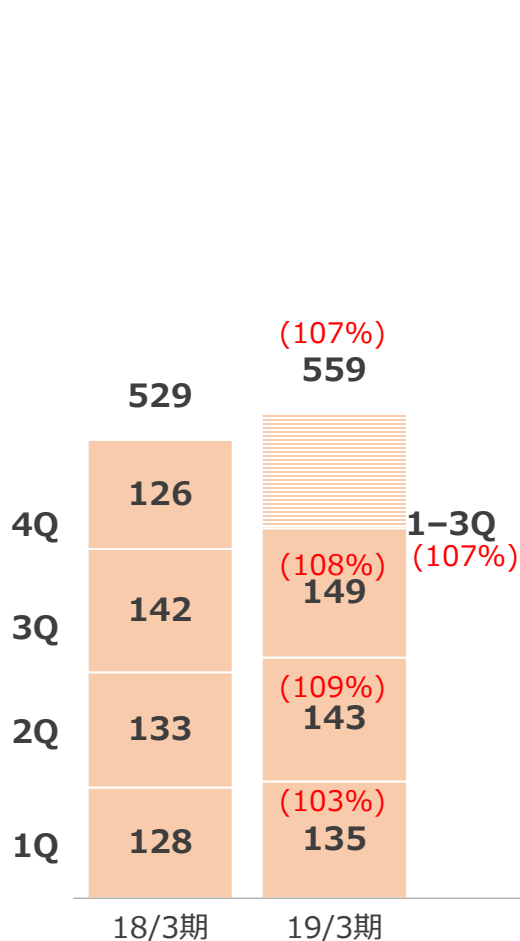


()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

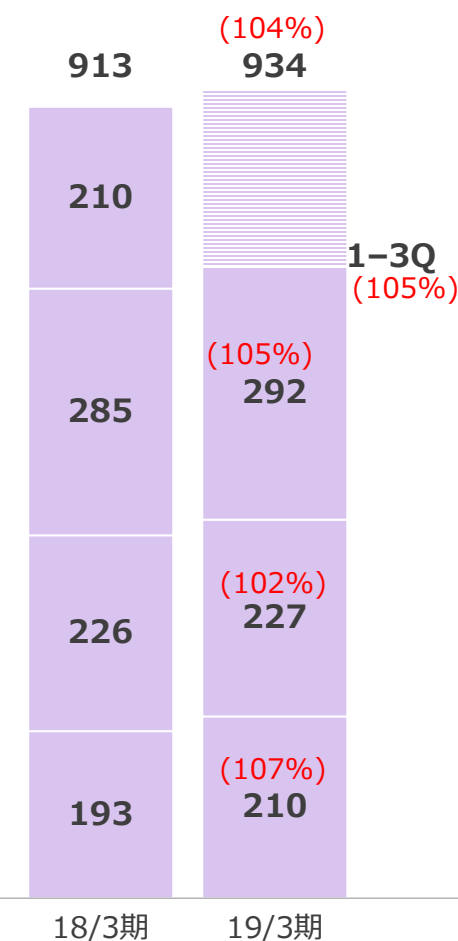
[]内は営業利益率

主要商品 売上状況

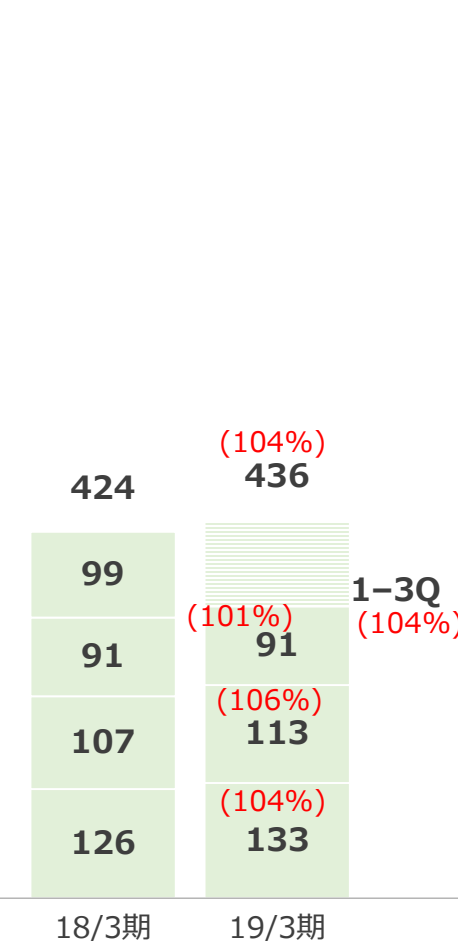
ピアノ



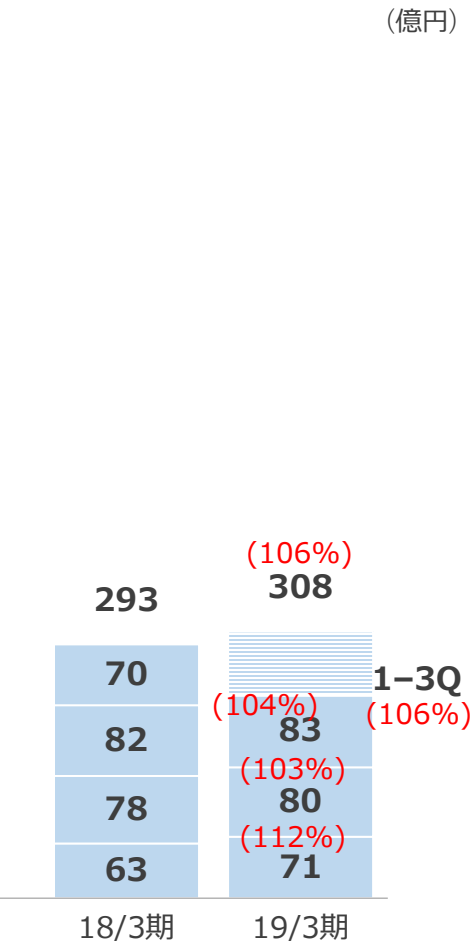
電子楽器



管楽器

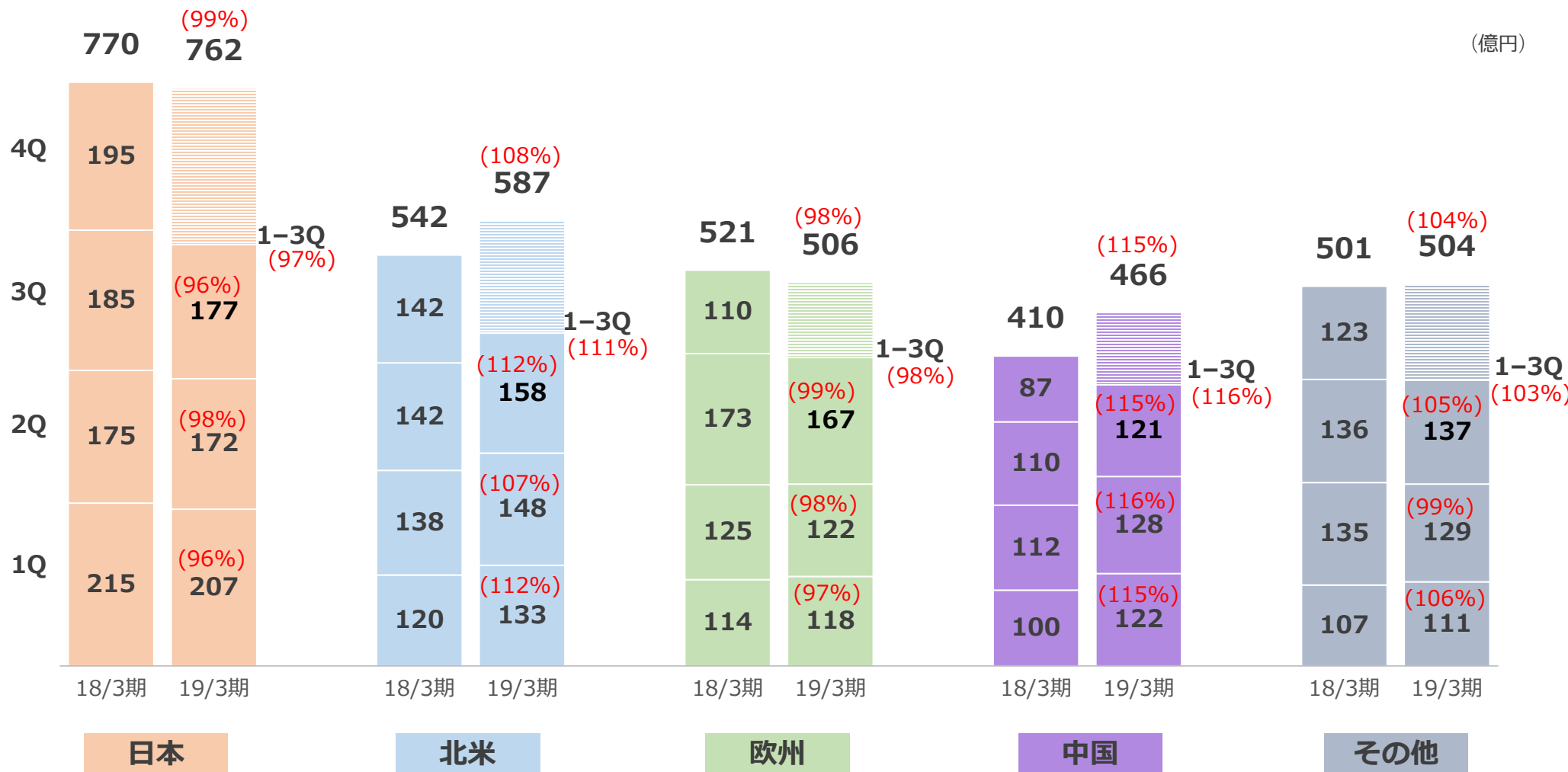


弦打楽器



(億円)

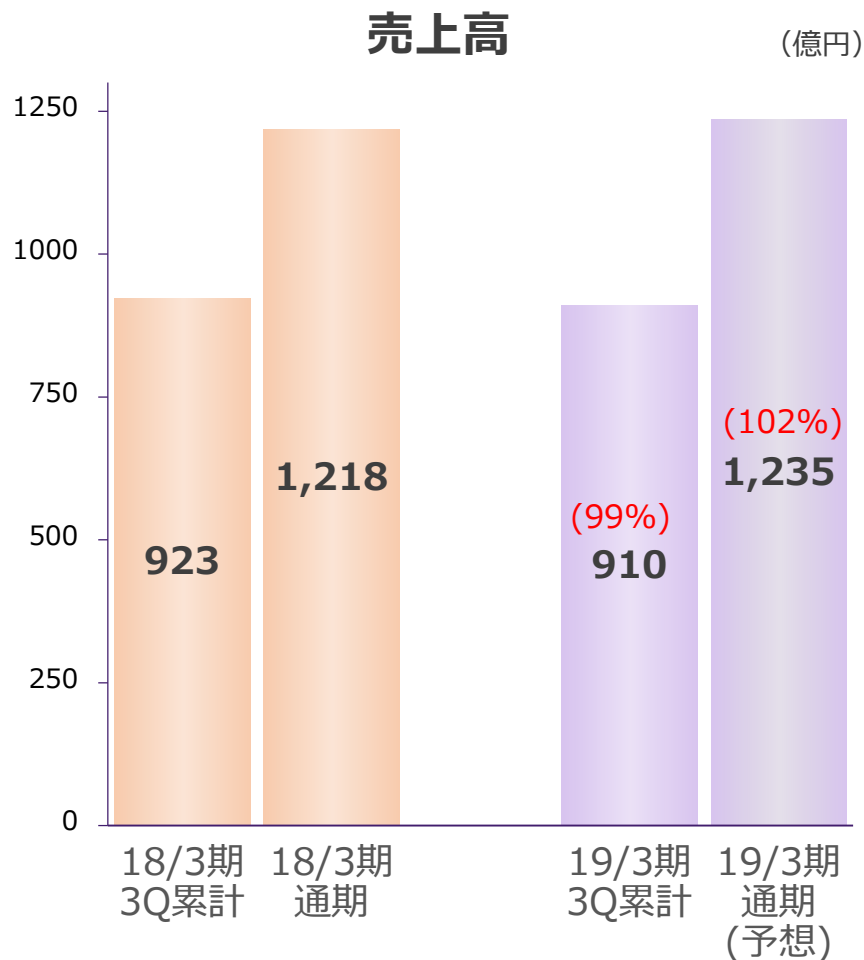
地域別販売状況



※ソフト、音楽教室等を含む

()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

売上・営業利益



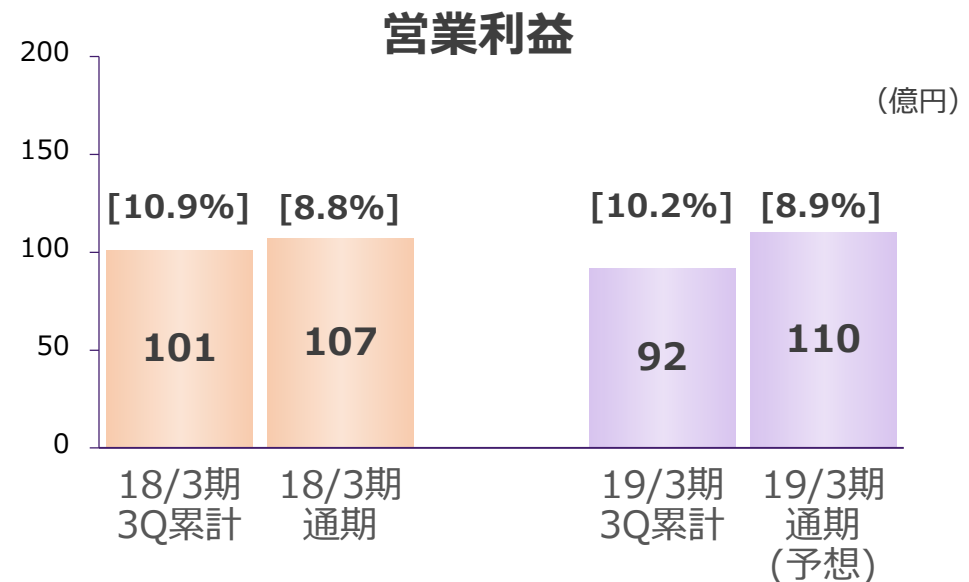
[3Q累計状況] 業務用音響機器が好調に推移

- AVは、米国で量販店向け出荷進むも、需要変化対応に遅れ、前年を下回る
- PAは、業務用音響機器好調も設備工事遅れ
- ICTは、ネットワーク機器は堅調、OEM減影響で前年下回る

[通期見込]

業務用音響機器、ネットワーク機器の好調継続を予想

- AVは、欧米で4Q挽回するも、前年若干下回る
- PAは、業務用音響機器が全地域で前年を上回り2桁成長
- ICTは、ネットワーク機器が好調に推移し前年上回る

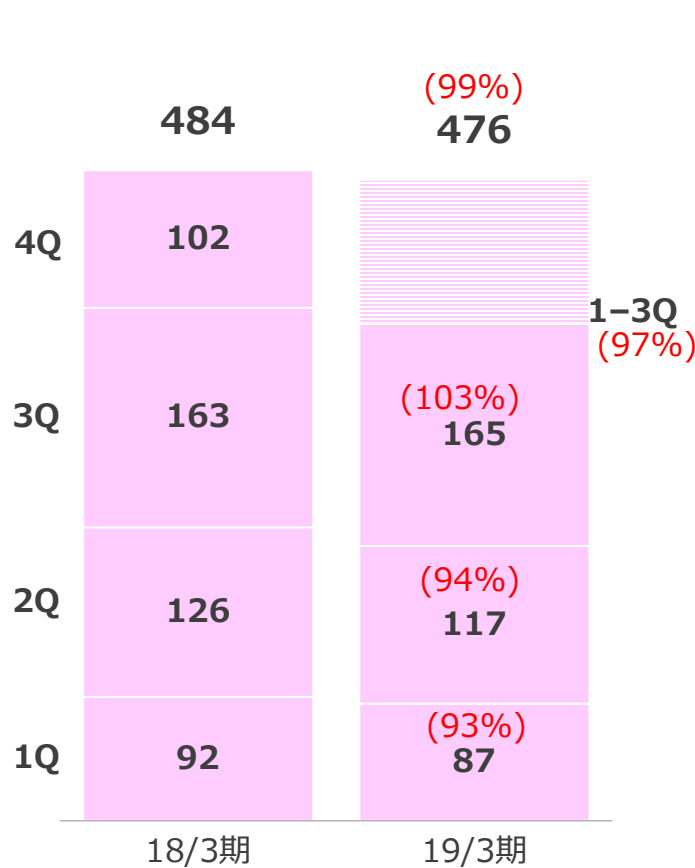


()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

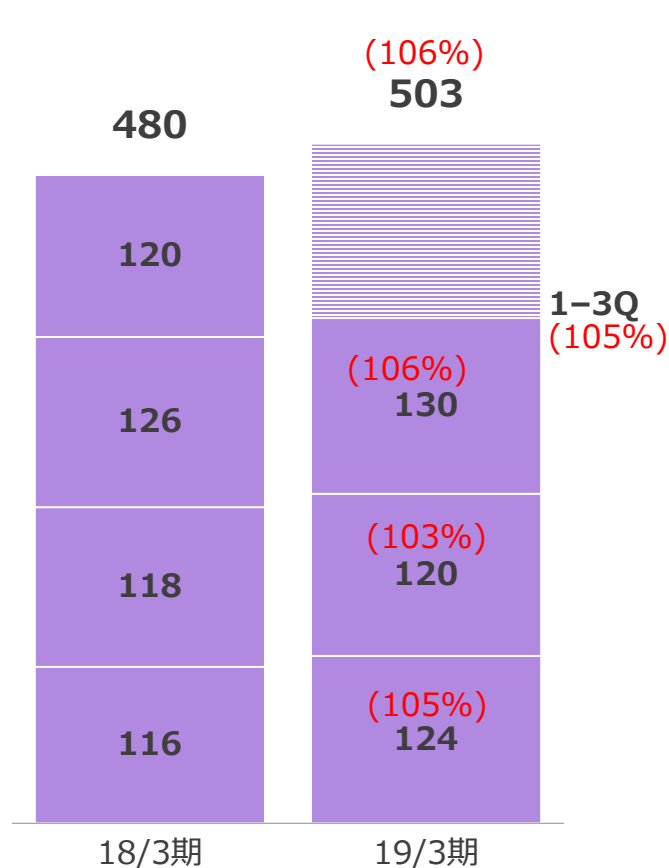
[]内は営業利益率

主要商品 売上状況

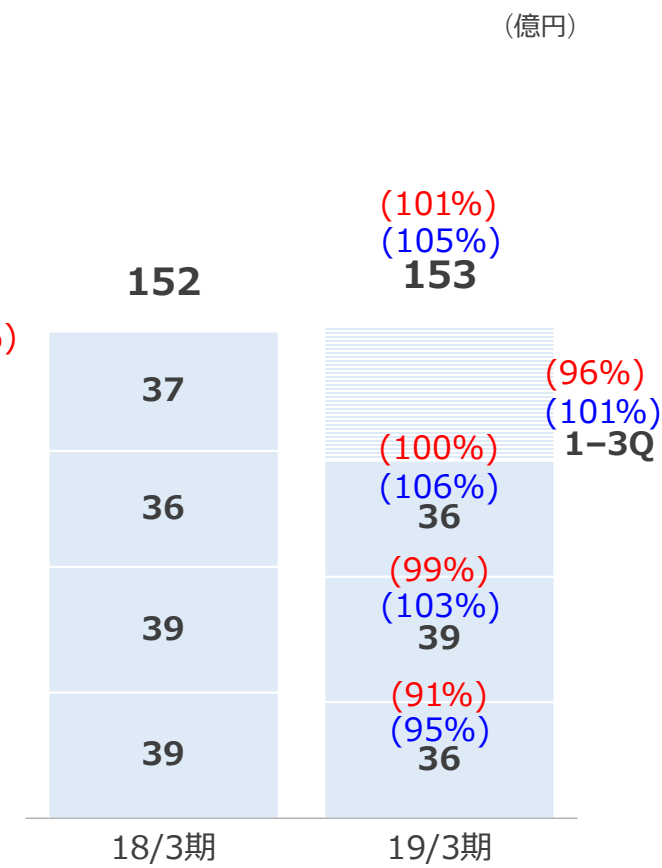
AV機器



PA機器



ICT機器

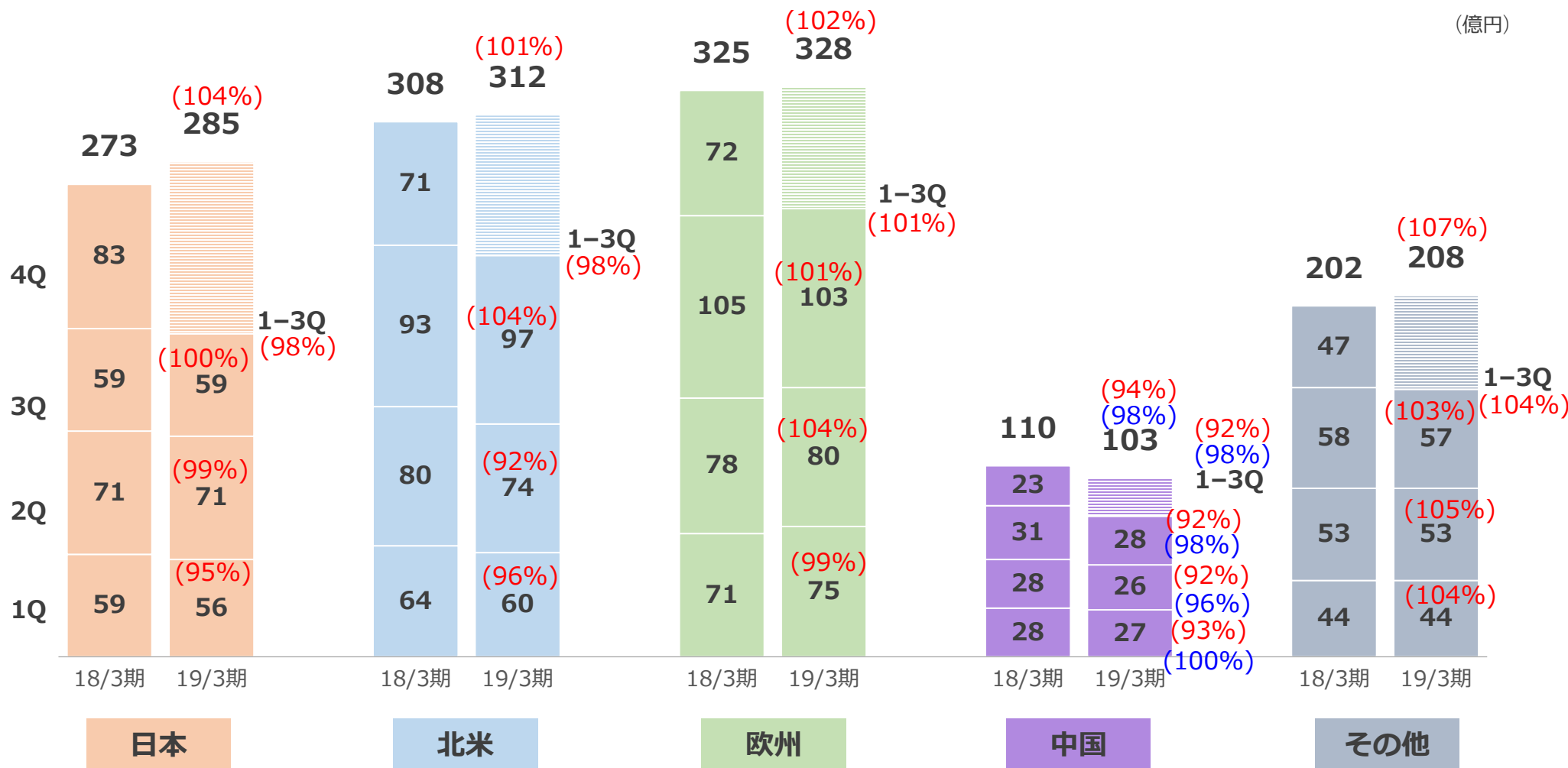


(億円)

※PA機器はハード売上のみ（設備工事を除く）

()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減
 ()内はOEM向けを除いた前期比増減

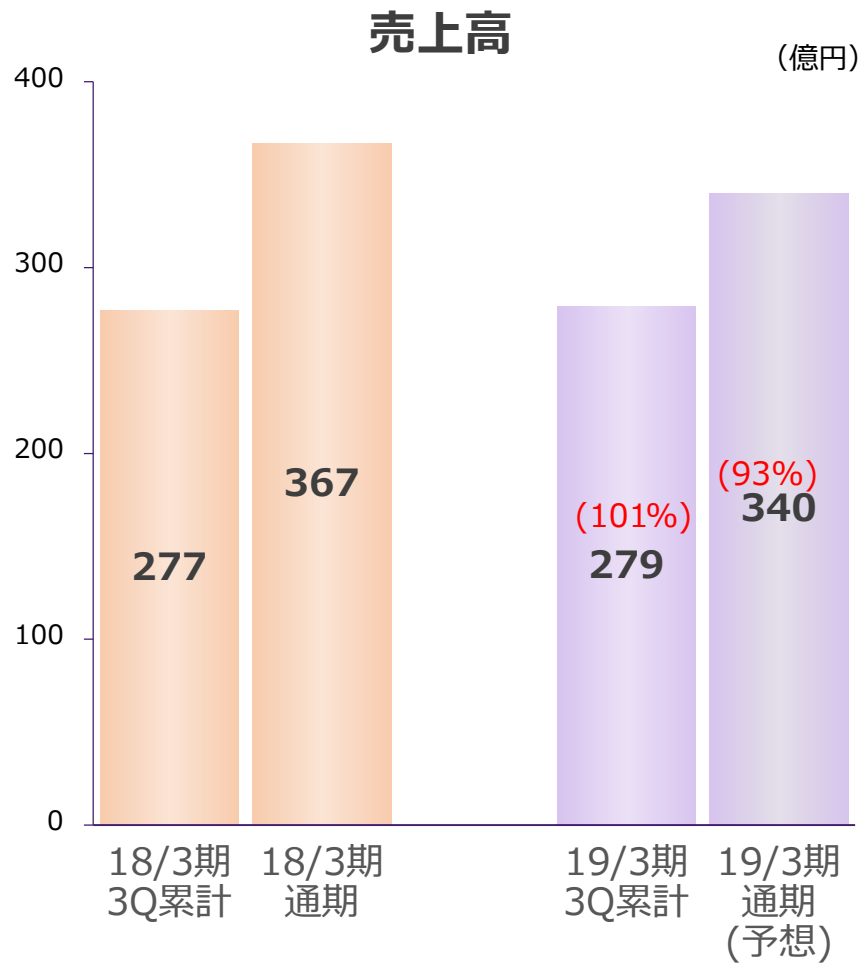
地域別販売状況



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

()内はOEM向けを除いた前期比増減

売上・営業利益

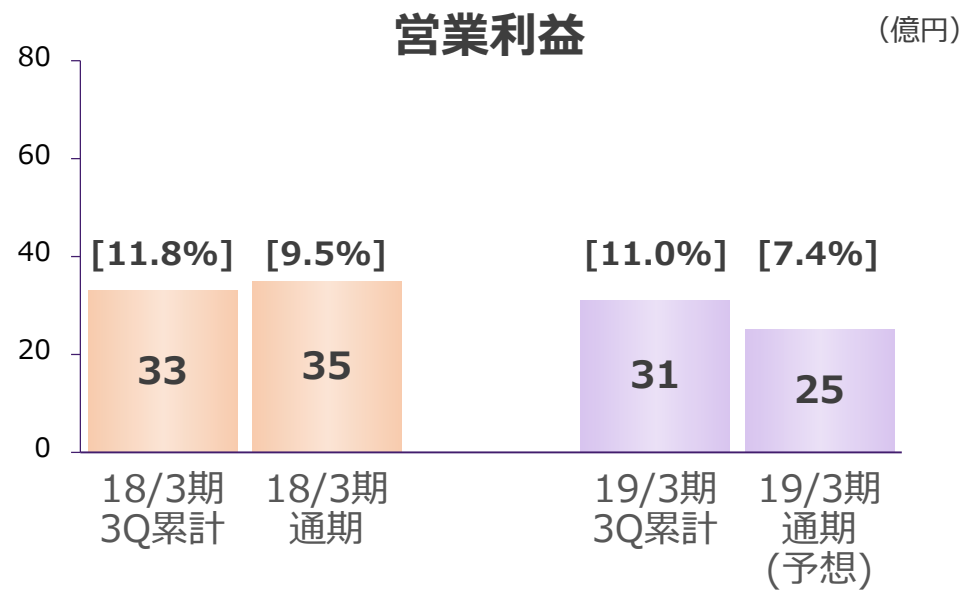


[3Q累計状況]

・電子デバイスは、アミューズメント、中国向け減速により前年を下回る。FA機器は、想定通り3Q以降減速、累計では前年上回る

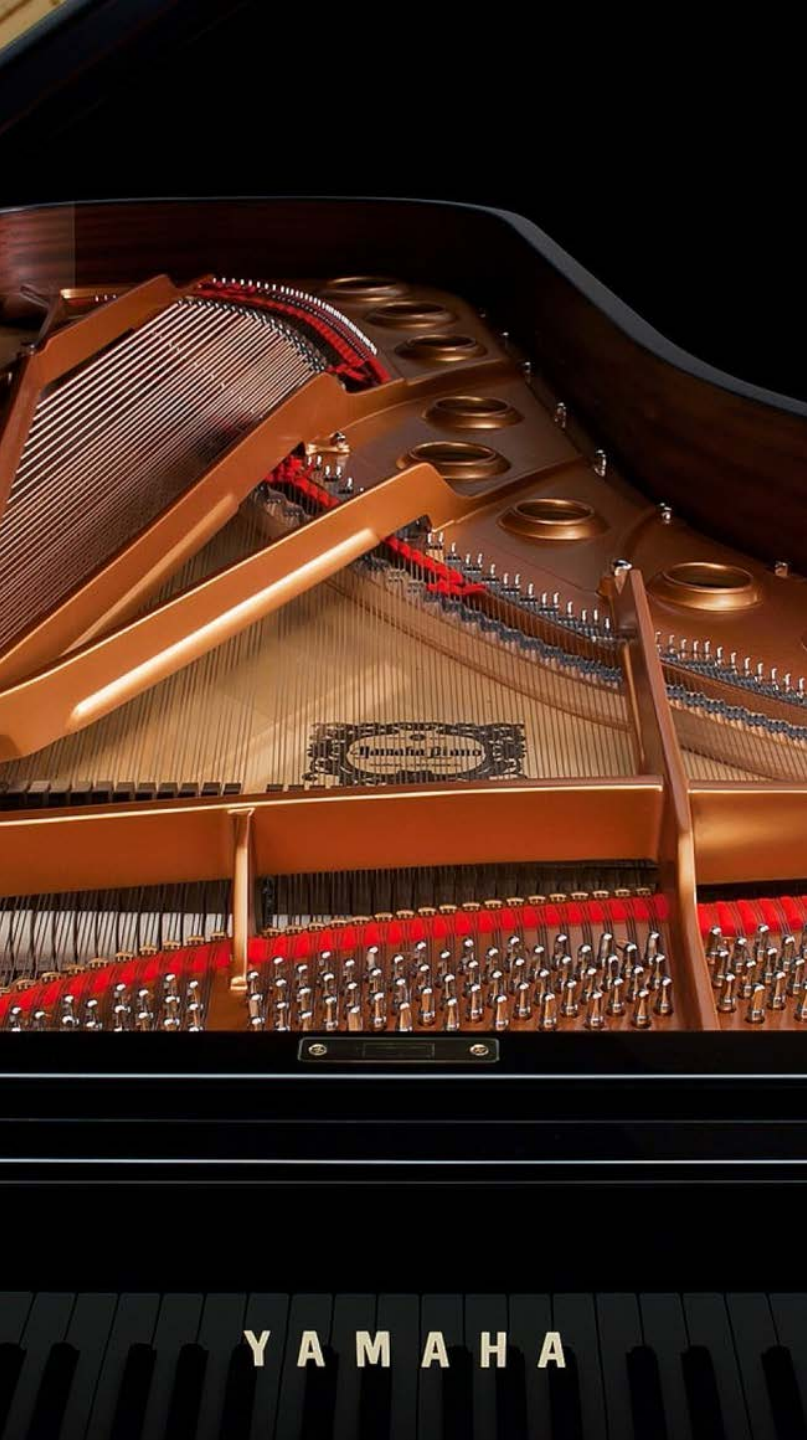
[通期見込]

・電子デバイスの減収により全体では前年下回る



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

[]内は営業利益率



3. その他財務数値

貸借対照表

(億円)

	18/3 3Q末	19/3 3Q末	増減	18/3末	19/3末 (予想)	増減
現金預金	1,387	1,096	▲291	1,227	1,126	▲101
売上債権	670	629	▲41	553	554	+1
棚卸資産	996	1,026	+30	941	993	+52
他流動資産	190	219	+29	174	219	+45
固定資産	2,773	2,299	▲474	2,628	2,349	▲279
資産計	6,017	5,269	▲748	5,523	5,241	▲282
仕入債務	182	181	▲1	199	198	▲1
借入金	259	191	▲68	111	117	+6
他負債	1,365	1,023	▲342	1,330	1,015	▲315
純資産計	4,211	3,874	▲337	3,883	3,911	+28
負債純資産計	6,017	5,269	▲748	5,523	5,241	▲282

* インドネシア税務にかかる偶発債務は異議申立等により解決が進み、重要度がなくなったため、決算短信への注記記載がなくなりました

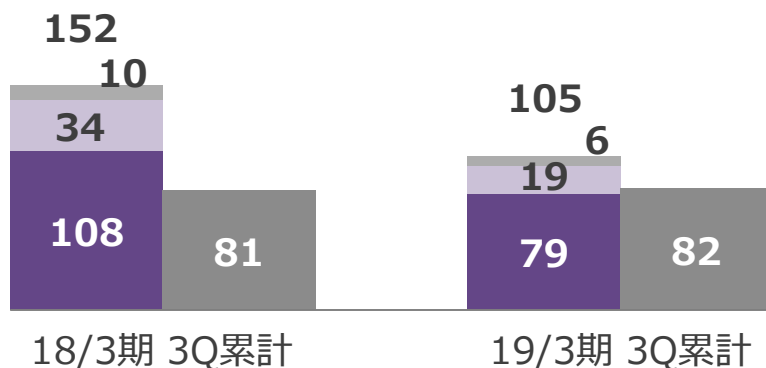
* 税効果会計に係る会計基準の改定に伴い、前期数値は組み替え

設備投資額・減価償却費/研究開発費

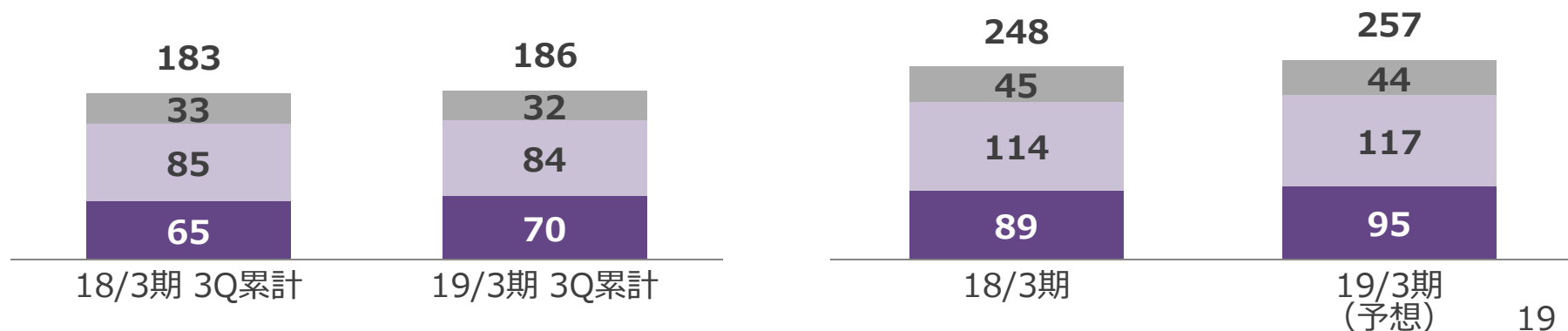
設備投資額 (減価償却費)

(億円)

- その他
- 音響機器
- 楽器



研究開発費



コーポレートガバナンス

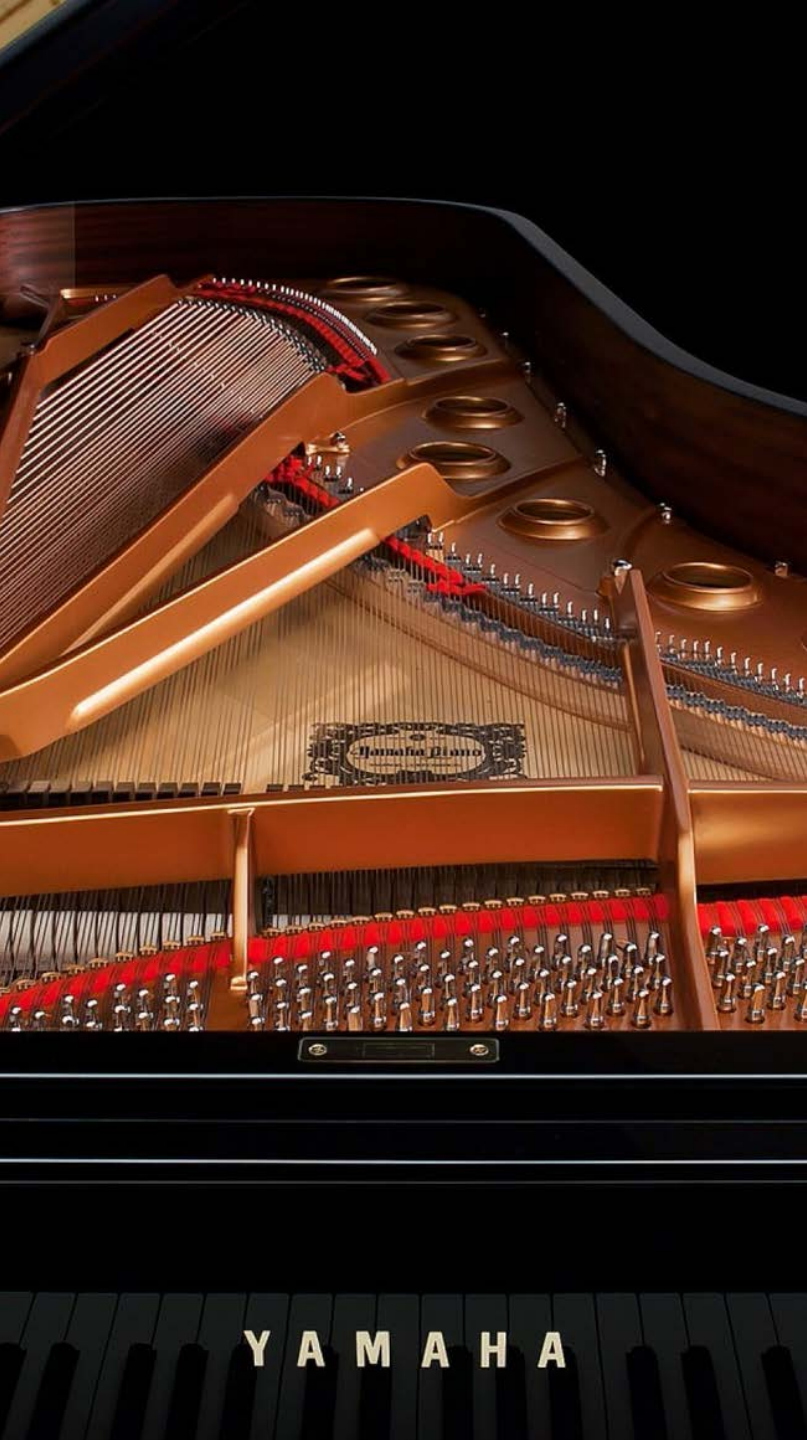


2018年 「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー[®]」 大賞受賞

※2019年2月1日受賞企業公表、2月21日表彰式

【コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー[®]概要】

主 催	一般社団法人日本取締役協会		
目 的	コーポレートガバナンスを用いて中長期的な成長を実現する企業を表彰する共に、コーポレートガバナンスの普及・啓蒙を広く呼び掛ける		
審査委員	委員長 齊藤 惇 (日本野球機構会長・プロ野球組織コミッショナー、元日本取引所グループCEO)	委員 井伊 重行 (産経新聞 論説委員)	委員 伊藤 邦雄 (一橋大学CFO教育センター長、一橋大学大学院商学研究科特任教授)
	委員 太田 洋 (西村あさひ法律事務所パートナー弁護士、ニューヨーク州弁護士)	委員 富山 和彦 (株式会社経営共創基盤CEO)	委員 中神 康議 (みさき投資株式会社代表取締役社長)
選定対象	東京証券取引所 第一部上場企業 (約2000社)		
2018年 受賞企業	大賞： ヤマハ株式会社 入賞： TDK株式会社、明治ホールディングス株式会社 経済産業大臣賞： オムロン株式会社 東京都知事賞： 大和ハウス工業株式会社	過去の 大賞 受賞企業	2017年度 花王株式会社 2016年度 HOYA株式会社 2015年度 株式会社プリチストン



付属資料

Y A M A H A

2019年3月期 3Q業績概要

(億円)

	18/3	19/3	前期比	
売上高	1,189	1,193	+4	+0.3% ^{*2}
営業利益 (営業利益率)	175 (14.8%)	196 (16.4%)	+20	+11.6%
経常利益	169	191	+22	+13.1%
当期利益 ^{*1}	299	148	▲151	▲50.4%
為替レート (円)			*2+2.2% (為替影響除く)	
売上高 (期中平均)	US\$	113	113	
	EUR	133	129	
利益 (決済レート)	US\$	113	113	
	EUR	130	132	

*1 連結財務諸表上は「親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益」

2019年3月期 3Q事業別実績

(億円)

		18/3	19/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上高	746	760	+14	▲17
	営業利益	115	142	+27	0
	営業利益率	15.4%	18.6%	+3.2P	
音響機器事業	売上高	347	345	▲3	▲7
	営業利益	49	46	▲3	▲1
	営業利益率	14.1%	13.3%	▲0.8P	
部品・装置 その他事業	売上高	96	88	▲8	0
	営業利益	12	8	▲3	0
	営業利益率	12.1%	9.4%	▲2.7P	

3Q累計 営業外損益、特別損益

(億円)

		18/3	19/3
営業外損益	金融収支	25	25
	その他	▲23	▲17
	計	1	8
特別損益	固定資産 処分損益	▲1 <small>ヤマハ発動機株式売却益 +258</small>	0
	その他	255	22
	計	253	22
法人税他	法人税等	185	110
	法人税等 調整額	▲12	33
	少数株主利益	0	0
	計	173	143

通期 営業外損益、特別損益

(億円)

		18/3	19/3 (予想)
営業外損益	金融収支	43	41
	その他	▲39	▲41
	計	4	0
特別損益	固定資産 処分損益	▲2 <small>ヤマハ発動機株式会社売却益 +258</small>	0
	その他	255	0
	計	252	0
法人税他	法人税等	214	123
	法人税等 調整額	▲13	26
	少数株主利益	0	1
	計	201	150

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基いており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。